

『淡江日本論叢』 投稿要項

- 96 学年度第 2 回系務会議で承認（民國 96 年 12 月 17 日）
- 98 学年度第 1 回系務会議で修正承認（民國 98 年 9 月 4 日）
- 111 学年度第 1 回系務会議で修正承認（民國 111 年 9 月 4 日）
- 111 学年度第 3 回系務会議で修正承認（民國 112 年 1 月 4 日）

- 一、年に 2 回の刊行（第 1 号は 6 月 30 日、第 2 号は 12 月 31 日に刊行）。
- 二、論文の内容：日本語学、日本文学、日本語教育学、日本文化など日本に関連するテーマで未発表の①学術論文か、②**教育実践報告**に限定されます。修士論文や博士論文、翻訳稿は受け付けません。
- 三、投稿資格：学内外の研究者の積極的な投稿を歓迎します。
- 四、論文の形式：
 1. Word98 以降を使用、横書き
 2. 使用言語：中国語か日本語
 3. 用紙：A4 サイズ
 4. フォント：MS 明朝体。タイトルは太字の 14 ポイント、本文は 12 ポイント、注釈は 10 ポイントを使用。
 5. マージン：上下各 5.35 センチ、左右各 3.5 センチ
 6. 1 ページの文字数：30 文字（横）x 30 行（縦）
 7. ページ数：中国語、英語、日本語の要旨および本文（図表、参考文献、資料等を含む）で最大 25 ページまで。
 8. 要旨：中国語、英語、日本語の順にそれぞれ 500 字以内の要旨と 5 つ以下のキーワードをつける。（各要旨に論文タイトル、著者氏名、所属機関を入れる。文字サイズは上記の通り。中国語は標楷体、英語は Times New Roman、日本語は明朝体を使用。）
 9. 論文タイトルは中央揃えで、上段にタイトル、中段に著者氏名、下段に所属機関を記載する。専任教師の場合は「専任」は記載せず、兼任教師（非常勤教師）の場合は「兼任」を明記する。大学院生の場合は「硕士生」または「博士生」と明記する。
 10. 章節：アラビア数字の 1. 2. 3.（下位セクションは 2.1、2.2、2.3）を使用する。「0」から開始しないこと。
 11. 注釈：各ページの下に 1. 2. 3. の形式で付ける。
 12. 参考文献：日本語論文は、日本語（五十音順）、中国語（**画数順**）、英語（アルファベット順）の順に、中国語論文は中国語、日本語、英語の順にリストする。専門書は著者または編者名、出版年、書名、版、出版地、出版社、ページ数の順に記す。論文の場合は著

者、出版年、論文タイトル、掲載書名、巻号、出版地、出版社、ページ数の順に書く。論文集も専門書と同様の扱い。

五、審査方法:

1. 全ての投稿原稿は、学内と学外の専門家による**審査委員会**の査読を経て掲載されます。
2. 審査意見は次の3種類に分類されます: 「a. 掲載可」、「b. 修正後、掲載可」、「c. 掲載不可」。
3. 審査料は1稿につき審査員一人当たり1,000元(合計2,000元)で、投稿者が負担します。3人目の審査員が必要な場合は、投稿者と審査委員会が費用を半分ずつ負担します。

六、投稿方法:

1. 紙媒体の資料: 論文原稿(著者の名前と所属機関は明記しないもの)3部、個人資料表、著作権同意書(個人資料表、著作権同意書は日本語学科のウェブサイト <https://www.tfjx.tku.edu.tw/japanese/opinion/1258> からダウンロードして記入してください)を添えて、当該年度の第1号は4月30日、第2号は10月31日までに、「新北市淡水区英専路151号淡江大学日本語文学系『淡江日本論叢』編集委員会」へ郵送してください。
 2. 電子資料: 論文全文のWordファイルとPDFファイルをtfjx@oa.tku.edu.tw宛に送信してください。メールの件名には「投稿《淡江日本論叢》第〇期(所属機関+姓名)」と明記してください。
 3. 審査費用2,000元は、郵便局の現金書留で郵送してください。領収書が必要な投稿者は返信用封筒を同封してください。
- 七. 掲載された論文の著作権は、本学の日本語文学科および大学が所有します。ただし、著作権は著者に帰属します。
- 八. 査読後に修正が必要な論文については、編集委員会が掲載の権利を保持します。査読や手続きの遅延により、当該号に掲載できない場合は、次号に掲載されます。